

北部循環市立病院線 の運行改善について

① 検討の進捗状況

【STEP1】課題整理および改善案（素案）の検討

現状の課題整理

- ・北部循環市立病院線の利用状況、収支状況の整理
- ・地域特性（人口分布等）の把握
- ・乗り込み調査による実態把握

北部循環市立病院線の改善案（素案）の検討

前回会議での内容

【STEP2】改善案（素案）に対する意向の把握

アンケート調査

（今回の報告内容）

- ・地域での移動実態の把握
- ・バス利用の際の行先ニーズの把握
- ・今後の利用意向

住民説明会

（今回の報告内容）

- ・改善案の説明
- ・改善案に対する意向の把握
- ・他都市事例の視察を実施

乗合所配置計画

（今回の報告内容）

- ・検討の進め方
- ・乗合所配置の素案（主要施設や自治会要望）

今回会議の報告内容

【STEP3】改善案の策定

北部循環市立病院線の改善案の策定 ※交通会議での合意形成

② 小出地区でのアンケート調査結果

● アンケート調査の概要

【アンケート調査の目的】

第二回地域公共交通会議で示した予約型乗合バス導入案(素案)をもとに、小出地区での予約型乗合バスへの意向を把握する

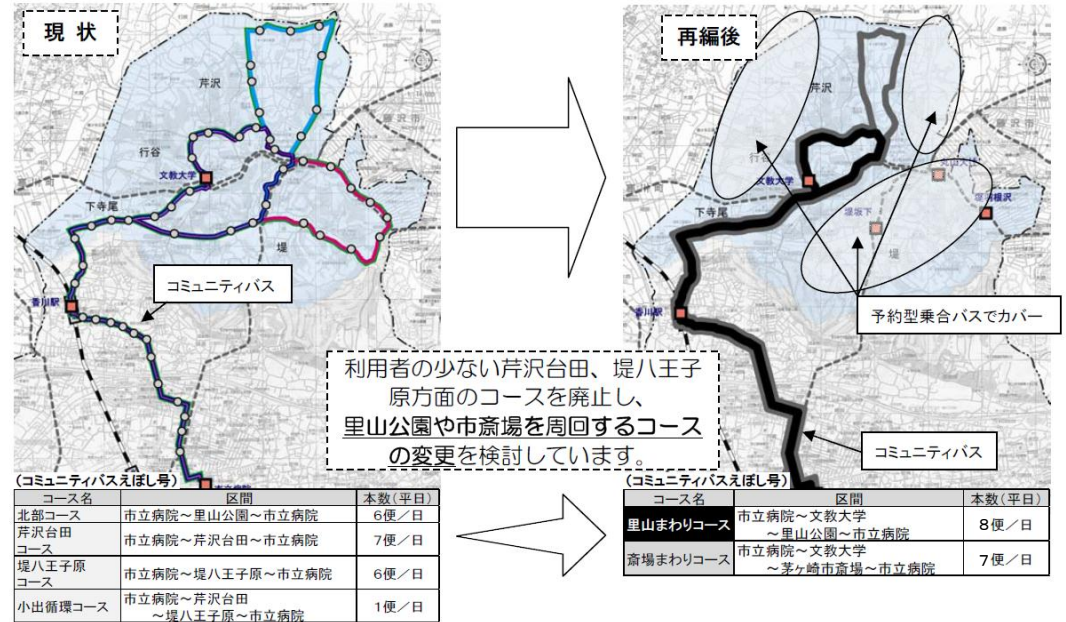
【調査概要】

アンケート方法 配布対象・配布数	・小出地区各自治会(行谷、芹沢、下寺尾、堤)から800世帯を無作為に抽出し、郵送配布(1世帯当たり調査票を2通同封) ・北部循環の利用者200名に直接配布 ・回収はいずれも郵送回収
配布・回収期間	・配布:平成24年12月4日(火) ・回収:平成24年12月7日～平成24年12月21日(金)
回収数	・世帯回収数:300部、回収票数:452票(世帯回収率:30%)
設問項目	・個人属性(性別、年代、職業) ・普段の移動状況(主な移動の目的、頻度、交通手段) ・小出地区での路線バス、コミュニティバスの利用状況(利用頻度、利用目的) ・予約型乗合バスの利用意向(利用意向、利用方法、既存バスとの乗り継ぎ有無)

①北部循環市立病院線のルート見直し（案）

小出地区では、現在以下のようなコミュニティバスの見直しと予約型乗合バスの導入を検討しています。

アンケートの実施に当たっては
北部循環のルートの見直しおよび新
たに導入を想定する「予約型乗合バ
ス」についての説明を簡潔にまとめた
チラシを同封し、新しい交通の理解の
もと回答をしていただくようにした



②予約型乗合バスの導入（案）

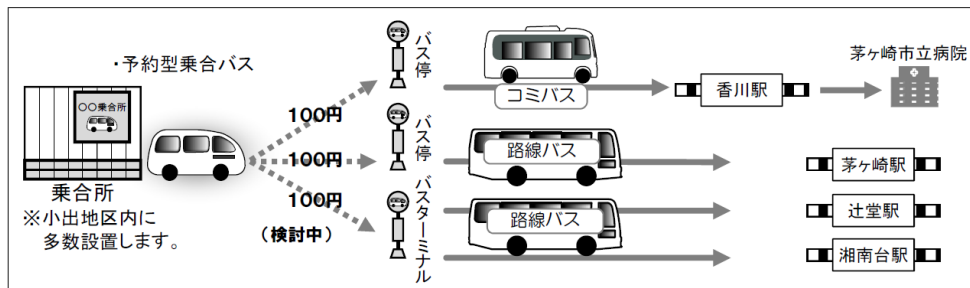
* **予約型乗合バスとは**・・・電話等で予約した方を自宅周辺から最寄りの目的地（バス停や小出地区内の公共施設等）まで送迎するサービス（右写真のワンボックス車両を想定）



●新たな交通システムの導入（案）

現在、小出地区内は主要な駅、病院へと向かう路線バス・コミュニティバスが充実しています。しかし、自宅からバス停までの距離が長いため、満足に使えることが課題です。

そこで、**予約型乗合バス**を利用して、路線バスやコミュニティバスに乗り継ぐことで目的地に行くことができます。（もちろん小出地区内だけの移動もOK!）

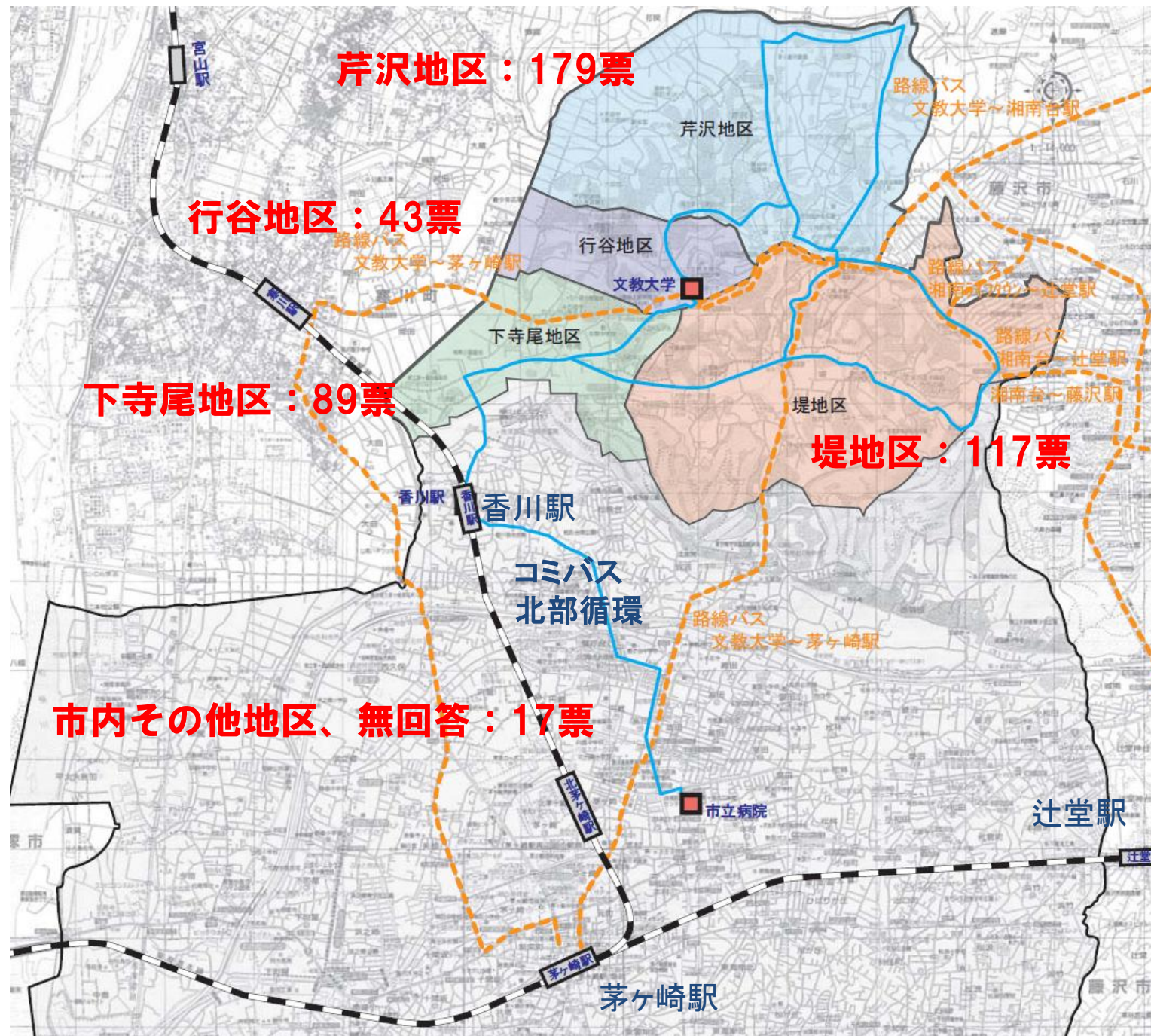


○運行するエリア・・・小出地区の全域を想定

○乗合所・・・自宅から概ね 100m 以内に設置を検討（小出地区内に複数設置）

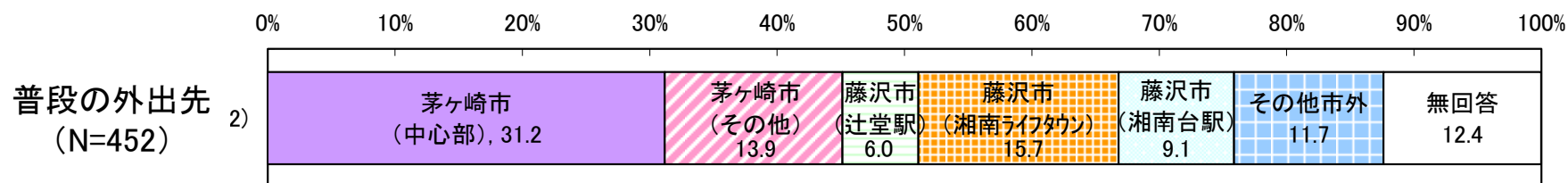
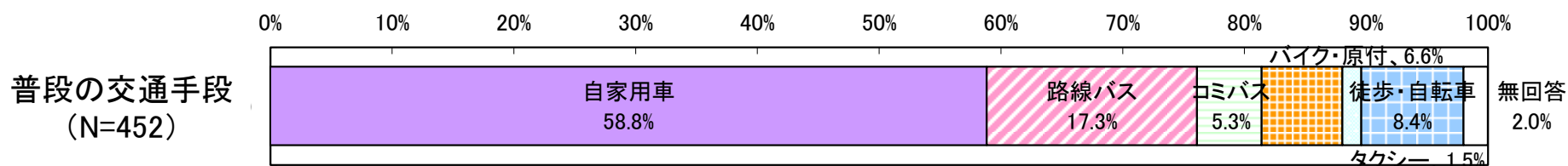
○料金・・・安価で利用していただける料金を検討（現在 100 円で検討中）

＜小出地区各自治会（行谷、芹沢、下寺尾、堤）の位置図＞

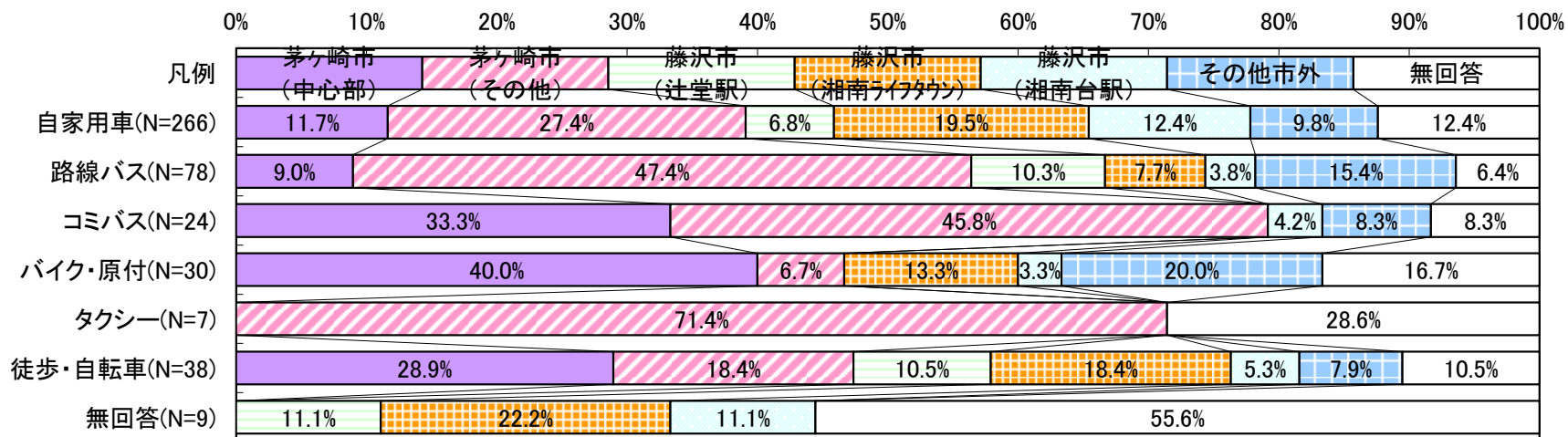


< 普段の交通手段、行き先 >

自家用車の割合は58.8%と高くなっている
 コミュニティバスの割合は路線バスと比較し低い
 主な外出先は茅ヶ崎市の中心部、藤沢市などとなっている

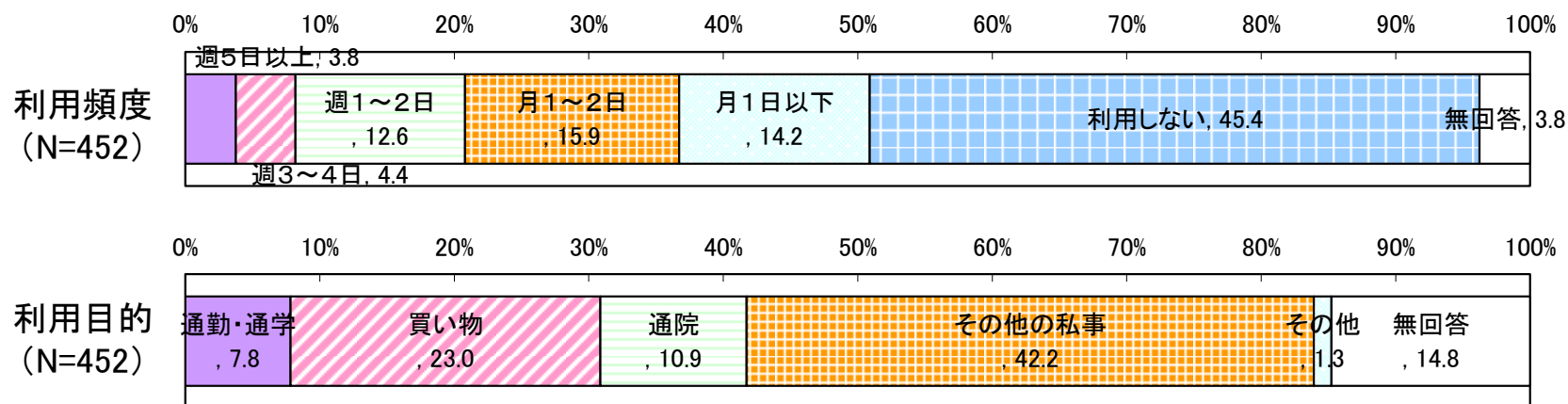


交通手段と外出先の関係



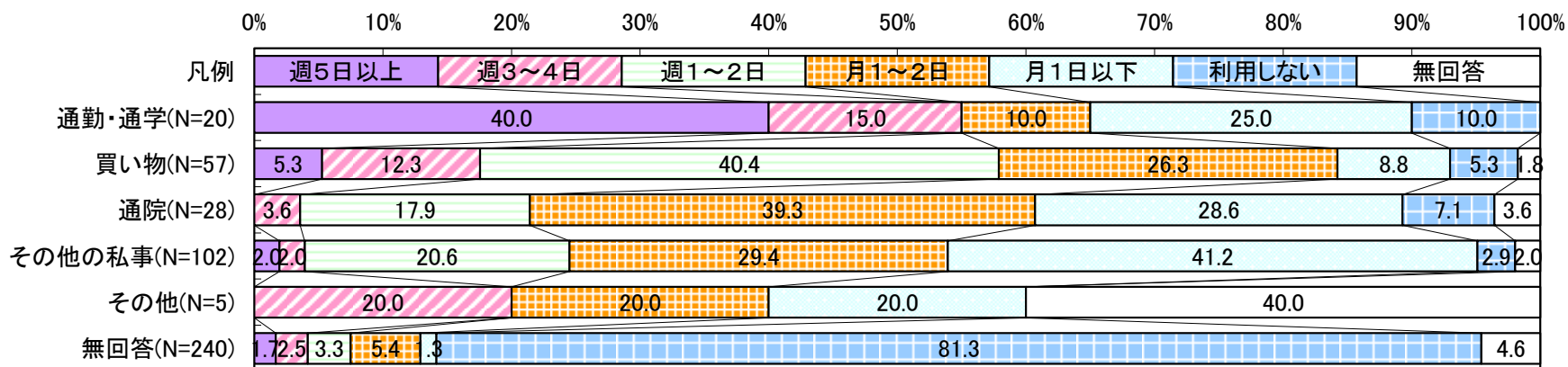
<路線バスの利用状況>

- ・週に1日以上利用している割合は、約20%となっており、利用しない割合は約45%
- ・利用目的は、買い物やその他私事が中心となっている



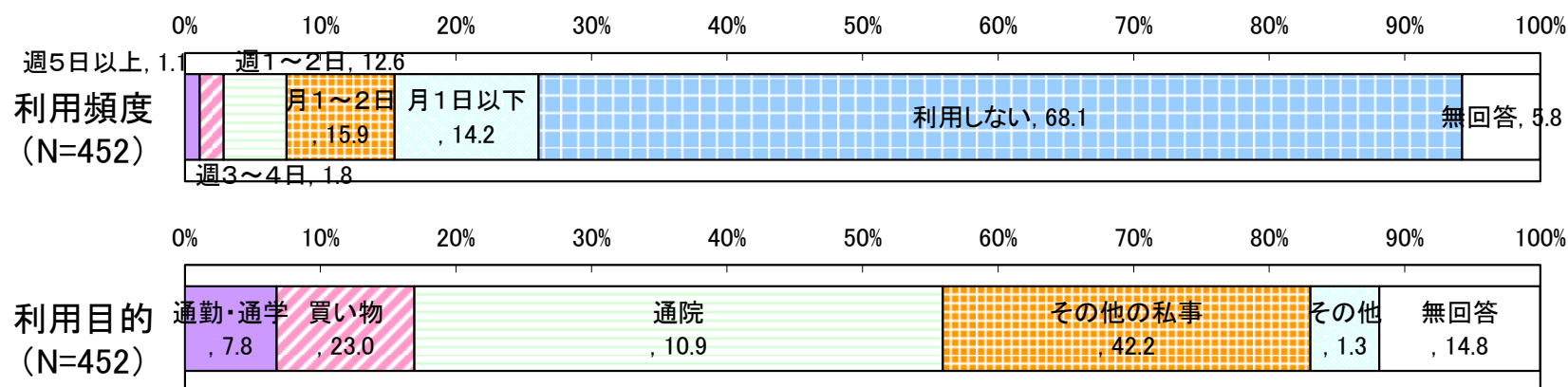
※利用目的は、利用頻度で「利用しない」「無回答」と回答した方を除く

利用頻度と利用目的



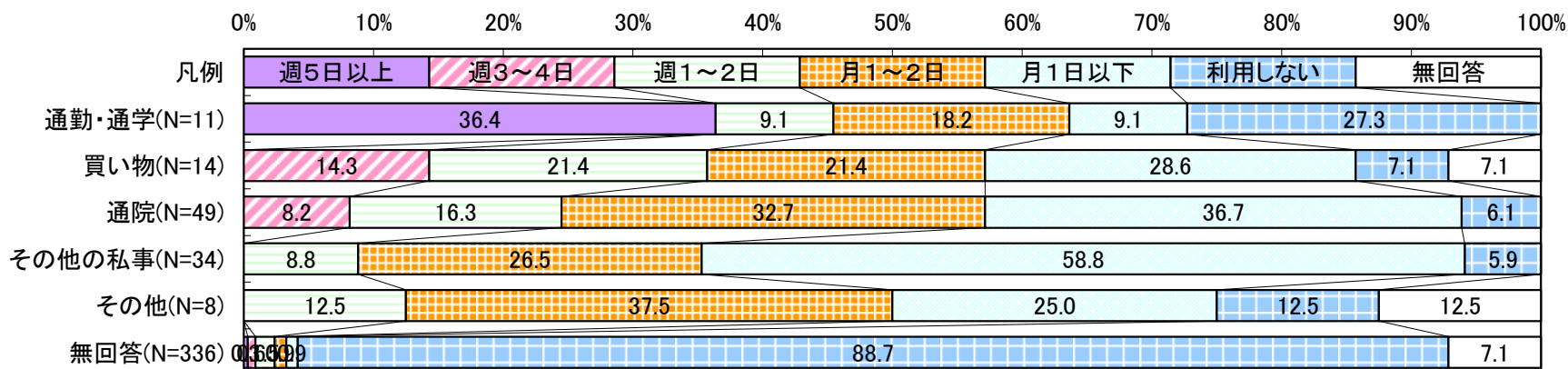
<コミュニティバスの利用状況>

- ・週に1日以上利用している割合は、約8%となっており、利用しない割合は約70%
- ・通院が目的の中心であるため、週に1-2日や月に1-2日の割合が高くなっている
- ・利用目的は、通院、その他私事が中心となっている



※利用目的は、利用頻度で「利用しない」「無回答」と回答した方を除く

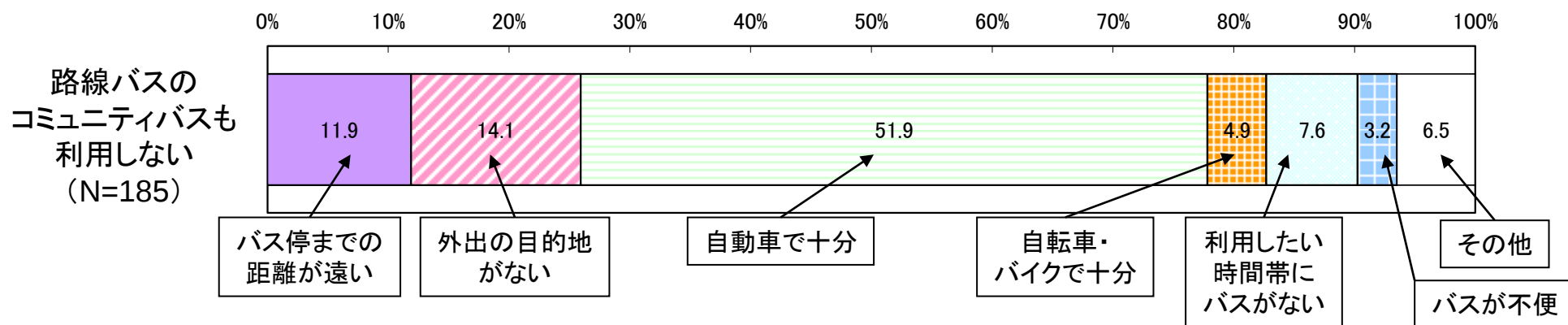
利用頻度と利用目的



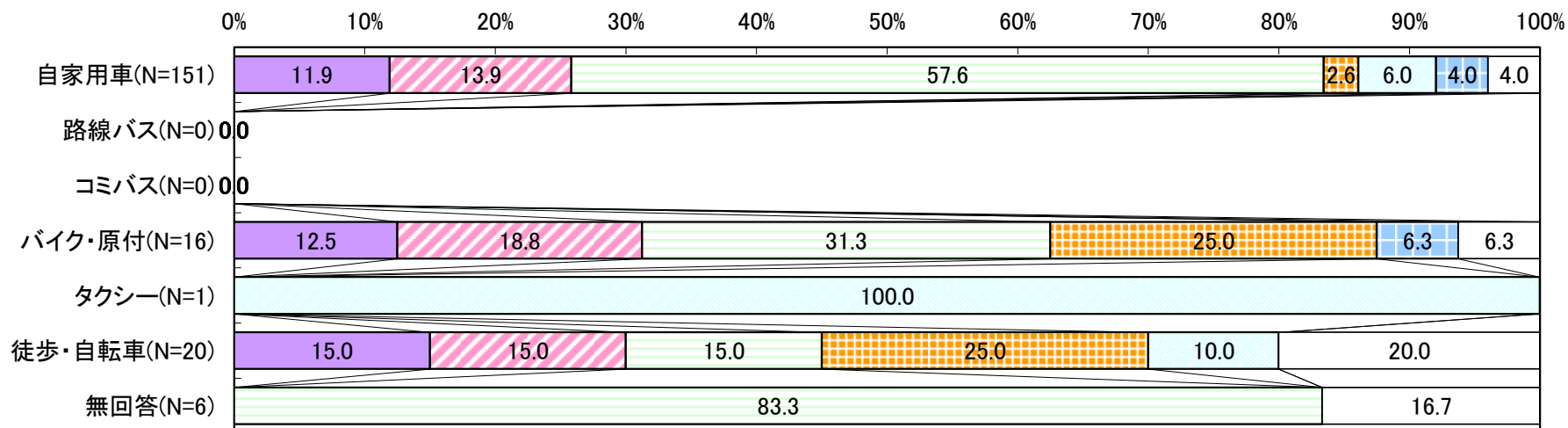
<バスを利用しない理由>

※路線バス、コミュニティバスともに「利用しない」と回答した方を対象

- ・自家用車で十分という理由が最も多く、次に外出の目的地がない、バス停までの距離が遠い、などとなっている



現在の交通手段とバスを利用しない理由

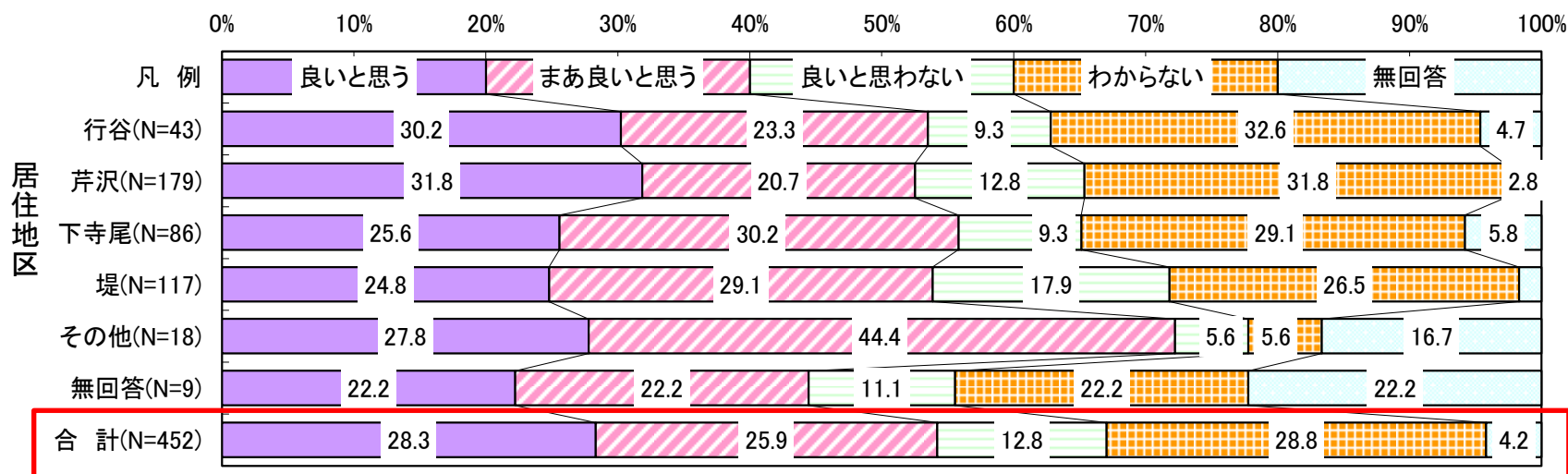


「その他」→足が悪い、外出することがない など

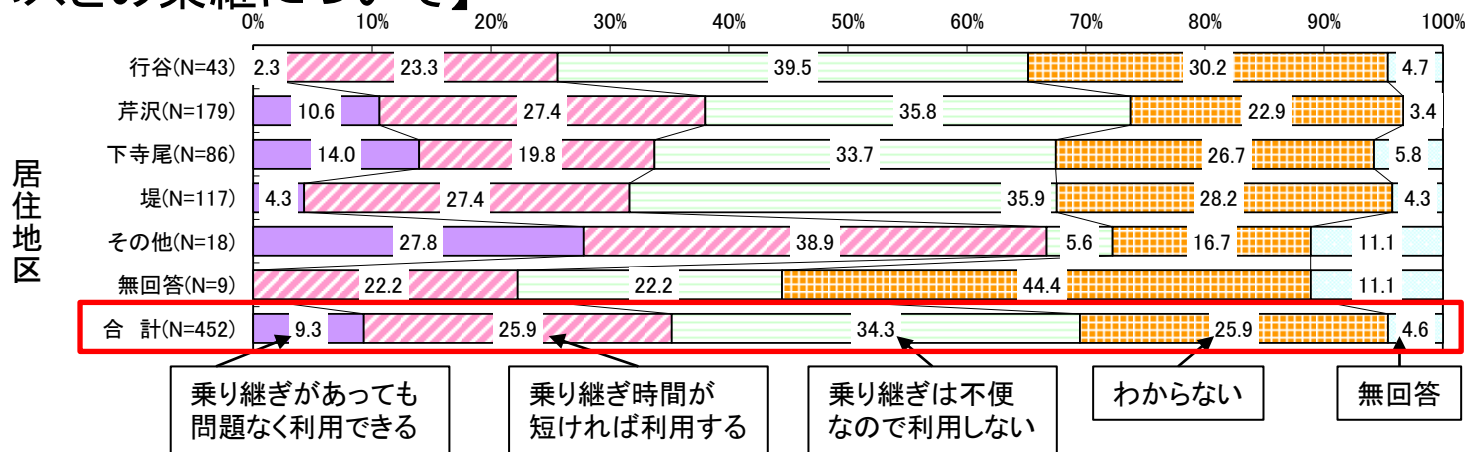
<予約型乗合バス導入について>

- ・全体の約55%が導入に賛成の意向を示している
- ・「乗継時間が短ければ利用する」とする方が約26%であり、乗継への対応が必要となる

【予約型乗合バス導入への意向】



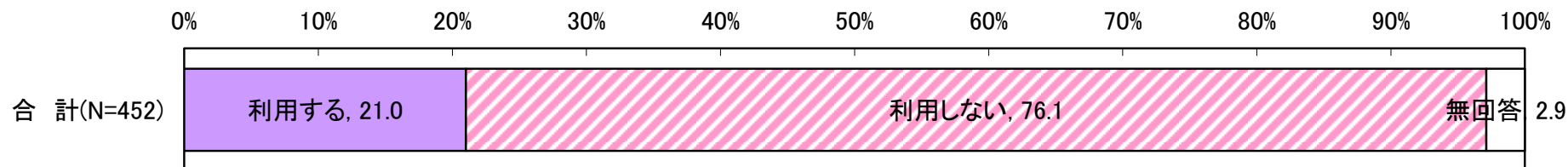
【路線バスとの乗継について】



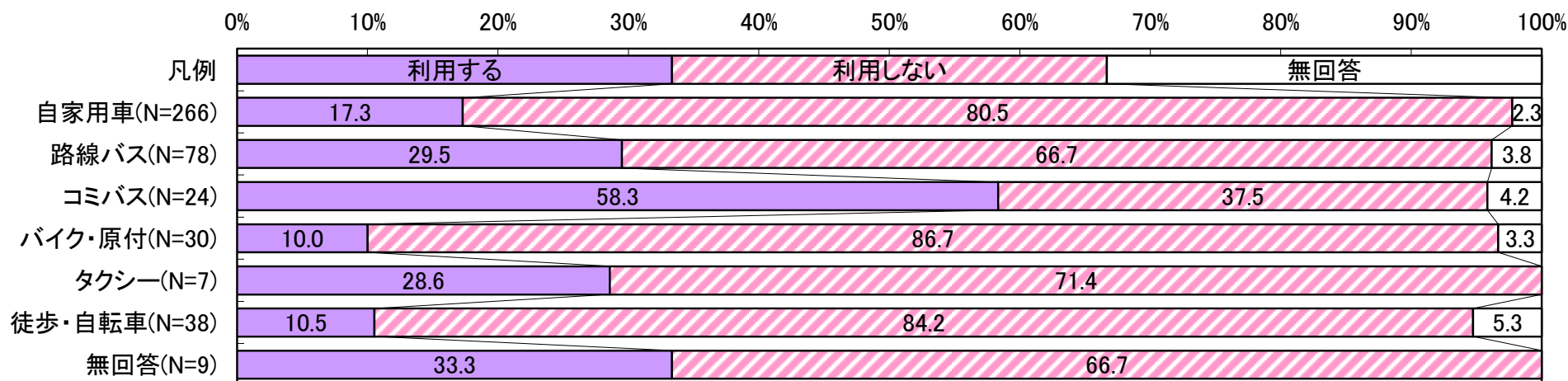
<予約型乗合バスの利用について>

- ・全体の約21%が予約型乗合バスを「利用する」としている
- ・コミュニティバスを現在利用している方の利用意向が高い

【予約型乗合バス導入の利用意向】

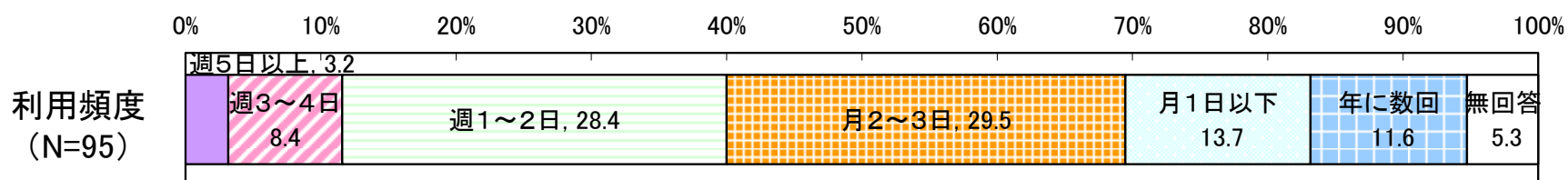


【現在の交通手段と予約型乗合バス導入の利用意向】

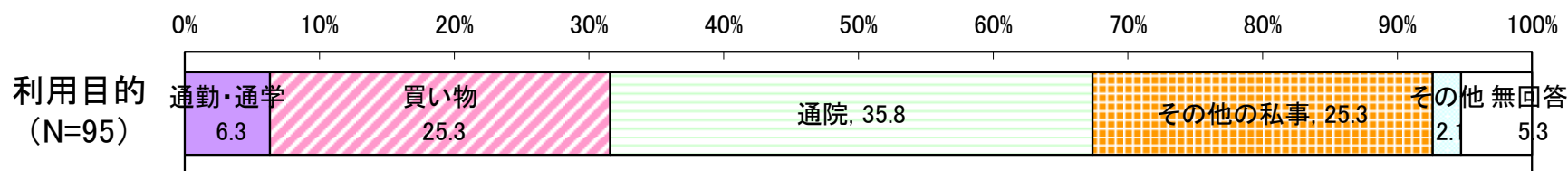


<予約型乗合バスの利用について>

- ・通院での利用が最も多く、次に買い物、その他の私事となっている
- ・月2～3日での利用の割合、週に1～2日の利用の割合がそれぞれ約30%と多い

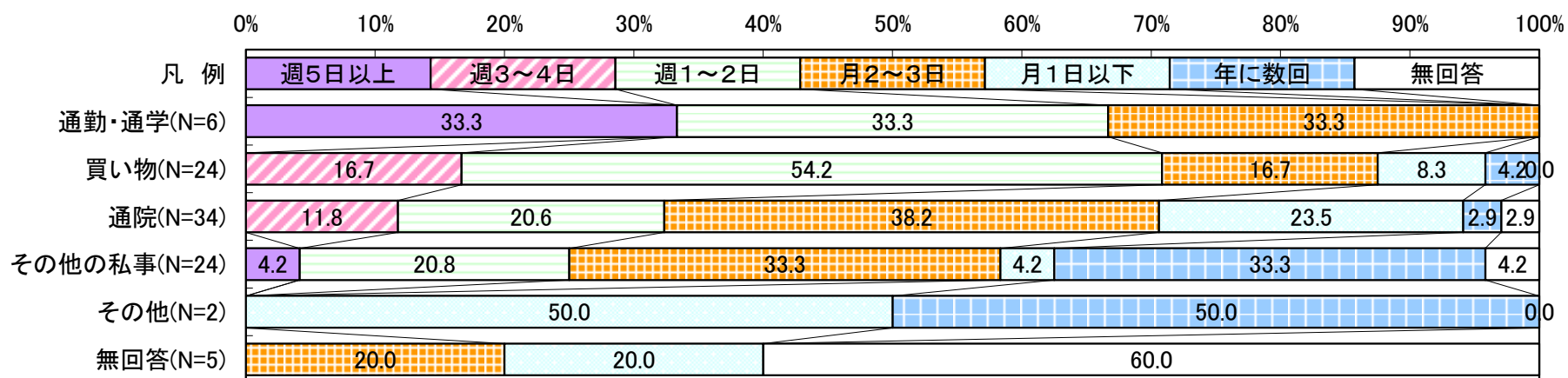


※利用意向で「利用する」と回答した方を対象



※利用意向で「利用する」と回答した方を対象

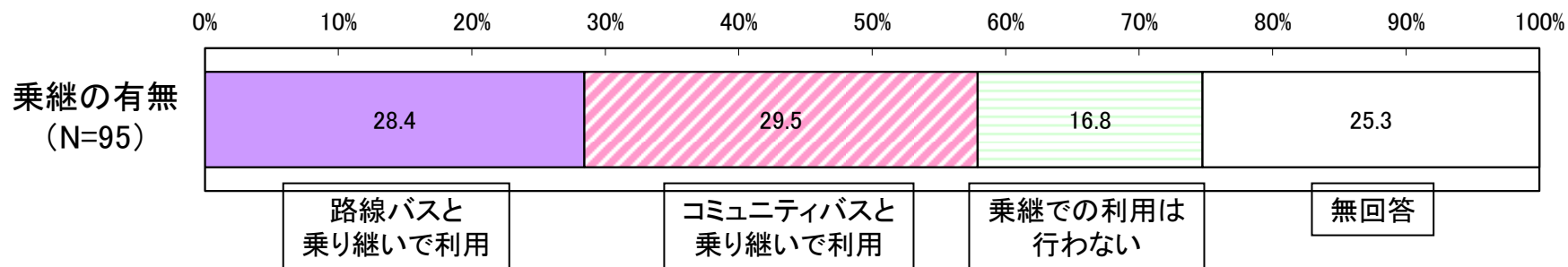
利用頻度と利用目的



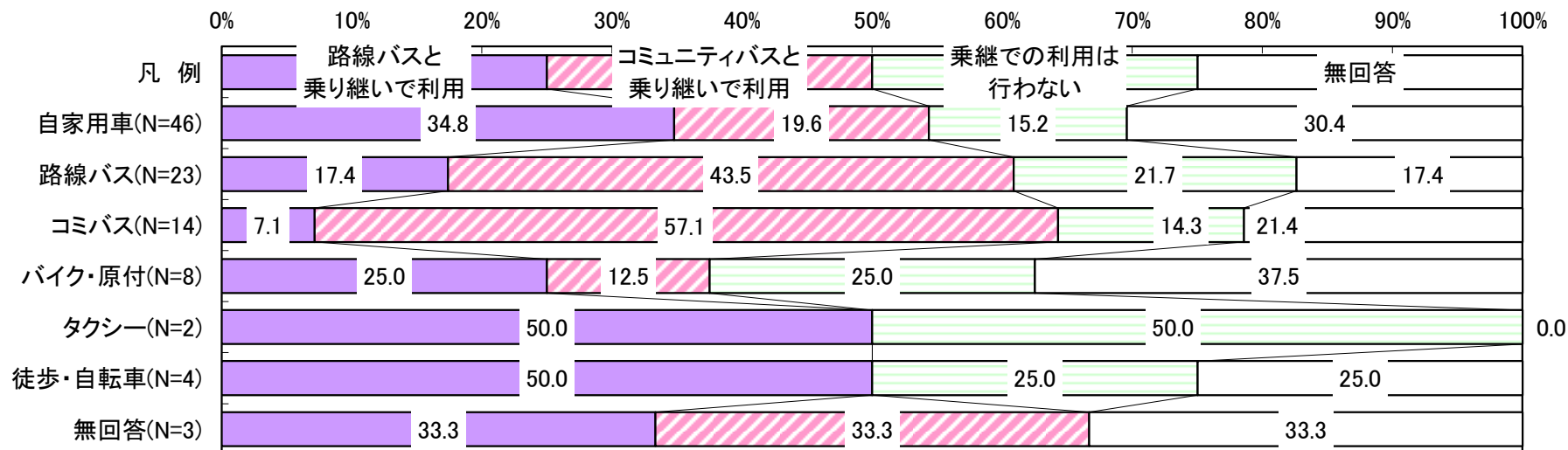
④ 予約型乗合バスへの意向

・約60%の方は、路線バスやコミュニティバスに乗り継いで利用としている

【路線バス、コミュニティバスとの乗り継ぎ有無】 利用意向で「利用する」と回答した方を対象



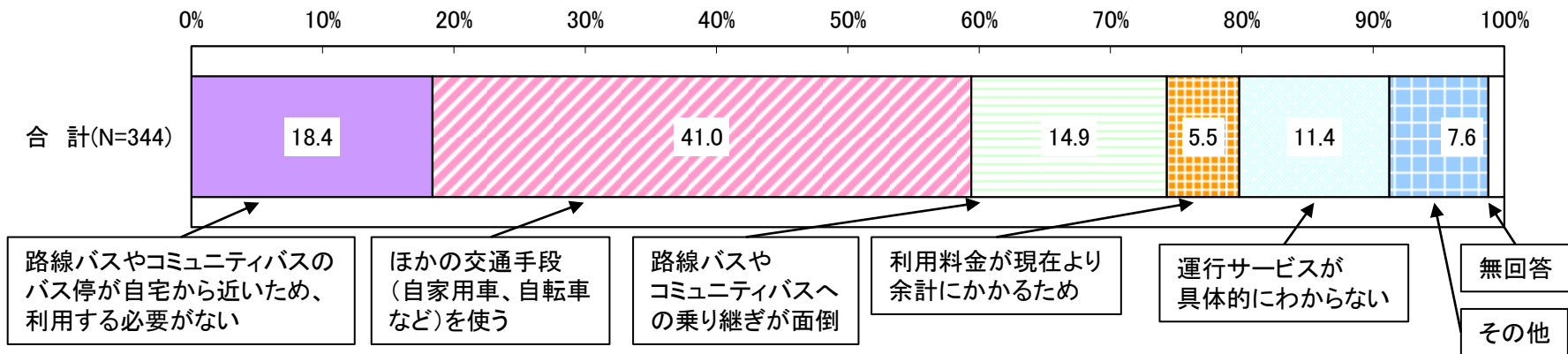
【現在の手段と乗継有無】 利用意向で「利用する」と回答した方を対象



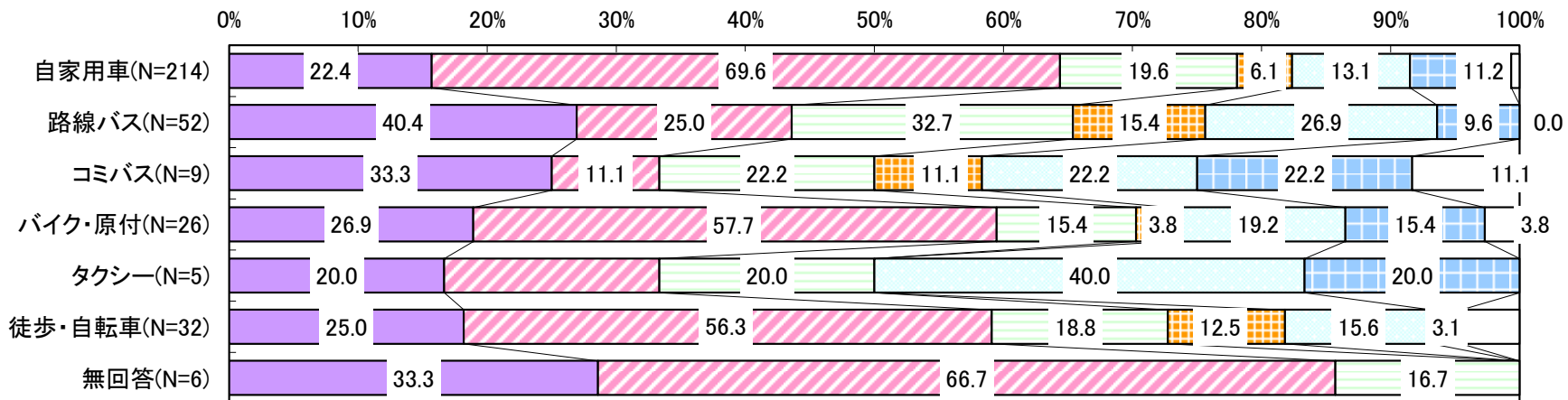
＜予約型乗合バスの利用について＞

【利用しない理由】 利用意向で「利用しない」と回答した方を対象

- ・予約型乗合バスを必要としない方の約60%は、既存の路線バスやコミュニティバス、あるいは自動車などを利用するためと回答している
- ・乗り継ぎが面倒とする方が約15%、料金が余計にかかるが約6%となっている



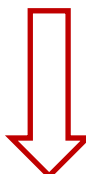
現在の交通手段と利用しない理由



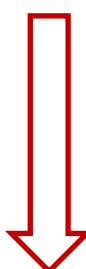
④ 住民説明会等の実施

●小出地区での定例会

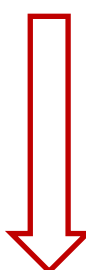
○第1回:7月29日

- 
- ・出席者:小出地区 各自治会長
 - ・コミュニティバスの現状と予約型乗合バスの計画を説明
 - ・予約型乗合バスの利用イメージについて、更に説明が必要

○第2回:9月16日

- 
- ・出席者:小出地区 各自治会長
 - ・予約型乗合バスの利用方法、利用イメージなどを中心に説明
 - ・移動ニーズに見合うシステム、コストを踏まえた上での検討、今後の住民への示し方など、活発な議論が行われた
 - ・夢のあるシステムであることを、利用イメージを更に伝えていくことが重要

○第3回:10月21日

- 
- ・出席者:小出地区 各自治会長
 - ・甲州市デマンドバスの視察報告、アンケート調査の案内、自治会別の乗合所設置希望箇所の募集の案内
 - ・1ヶ月ごとに説明を受けているが、説明内容を地域住民に説明できない場合があるため、回覧資料を作成し、地域への周知を図ることとした

○第4回:1月20日

- ・出席者:小出地区 各自治会長
- ・アンケートの結果報告、乗合所設置に関する経過報告

理解を深めていく

●甲州市デマンドバスの視察(10月4日)

- ・参加者:小出地区 自治会長(11名)
- ・プログラム:甲州市担当職員からの説明、デマンドバス車両、オペレーターなどを見学

【目的】

予約型乗合バスを実際に見学し、説明を受けることで
予約型乗合バスに関する理解を深めることを目的として実施

【内容】

- ・甲州市でのデマンドバスの概要、利用方法、検討経緯などに関する説明を受け
予約型乗合バスに関する理解を得られた。
- ・オペレーターの様子や車両を見学し、予約型乗合バスの運行方法などに関する
認識を共有することができた。
- ・また、オペレーターが利用者からの申込み連絡受けている状況も確認でき、
利用イメージをつかむことができた。



説明会の様子



バス停見学の様子



車両見学の様子

⑤ 予約型乗合バスの乗合所配置検討

● 予約型乗合バスの乗合所配置の考え方

1＞各住宅から概ね100m以内に立地

予約型乗合バスは、小出地区の全体で利用可能であることを目標とする。そのために、予約型乗合バスの乗合所は、小出地区内にまんべんなく配置し、概ねどの住宅からも100m圏内に収まるよう計画する。

2＞地区内の主要施設への配置

地区内の移動（自治会館などの公共施設、地区内医療施設を目的地とした移動）に対応するため、地区内の主要施設も対象とする。

3＞地区内での拠点バス停の設定

予約型乗合バスは小出地区内での移動で完結するが、その中で乗り継ぎや主要施設を考慮した拠点バス停を設け、分かりやすさを確保するとともに、今後、路線バスやコミュニティバスとの連携を図っていく。

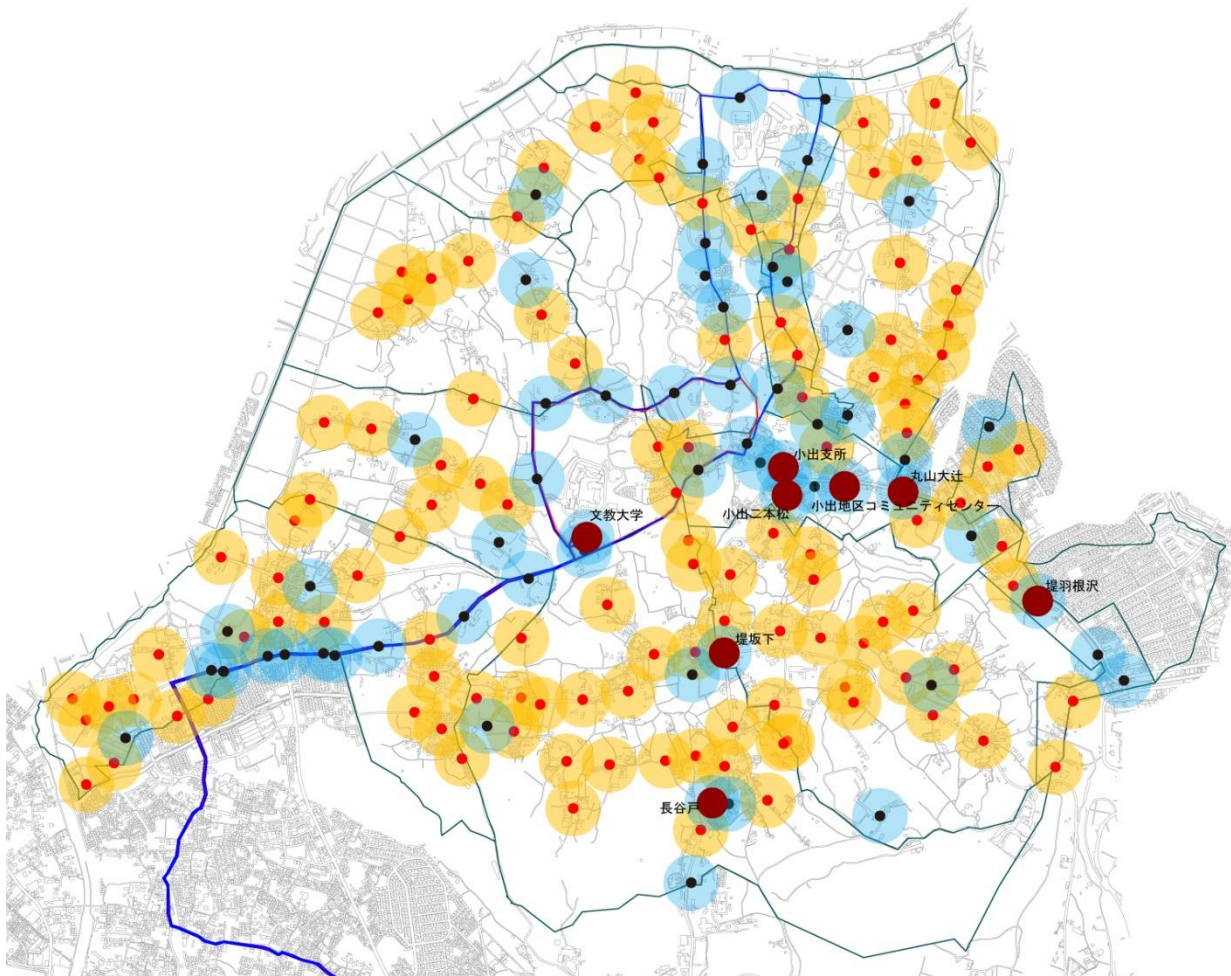
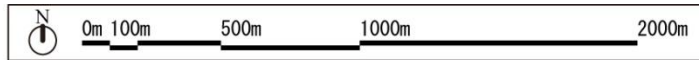
●検討の進め方

以下の手順で、乗合所の設置場所を検討していく。



●乗合所配置の素案(検討中)

主要施設や自治会要望をもとに、整理した結果を示す。(実現性検証、関係機関協議が今後必要)



自治会ごとの乗合所設置数

合計: 175ヶ所(暫定)

	拠点、主要施設	その他	合計
下寺尾	10	24	34
行谷	5	9	14
芹沢西部	2	7	9
芹沢久組	1	6	7
芹沢細谷紺谷村	4	2	6
芹沢中部	6	3	9
芹沢ひかりが丘	3	3	6
芹沢清水台	2	1	3
芹沢東部	4	14	18
やよい会	1	3	4
二本松	8	4	12
八王子原	3	3	6
堤上	3	20	23
堤下	5	19	24
合計	57	118	175

参考として、面積または人口当たりの乗合所の箇所数を以下に示す。

茅ヶ崎市小出地区

乗合所数 計 175 箇所

面積または人口当たり箇所数

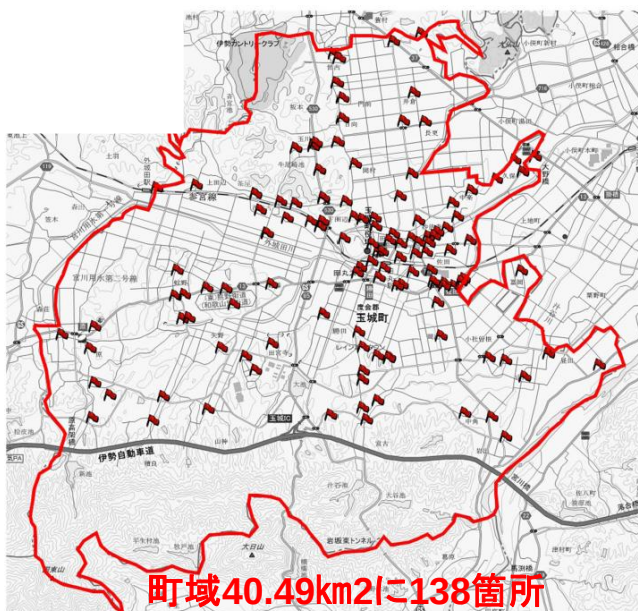
地域面積	7.7 km ²	→	22.60 箇所/km ²
人口	10,521 人	→	1.66 箇所/100人
高齢化率	30.8 %	→	
高齢者数	3,237 人	→	5.41 箇所/100人

今後、道路空間を含めた検討を加え、乗合所設置位置を検討し、その後、道路管理者・警察・交通事業者といった関係者協議が必要

[参考]他の自治体によるデマンド交通の乗合所数

三重県玉城町

乗合所数	計 138 箇所		
面積または人口当たり箇所数			
地域面積	40.94 km2	→	3.37 箇所/km2
人口	15,223 人	→	0.91 箇所/100人
高齢化率	21.9 %	→	
高齢者数	3,334 人	→	4.14 箇所/100人



出典
玉城町を支えるオンデマンド交通システム
(玉城町、東京大学資料)

神奈川県中井町

乗合所数	計 120 箇所		
面積または人口当たり箇所数			
地域面積	20.02 km2	→	5.99 箇所/km2
人口	9,989 人	→	1.20 箇所/100人
高齢化率	24.5 %	→	
高齢者数	2,450 人	→	4.90 箇所/100人



出典
中井町ホームページ

茅ヶ崎市小出地区

乗合所数	計 175 箇所		
面積または人口当たり箇所数			
地域面積	7.7 km2	→	22.60 箇所/km2
人口	10,521 人	→	1.66 箇所/100人
高齢化率	30.8 %	→	
高齢者数	3,237 人	→	5.41 箇所/100人



⑥ 予約型乗合バスの導入に向けた進め方

小出地区内に配置する予約型乗合バスの乗合所の設置場所の検討を行うとともに、地区住民に対し説明会を実施し周知を図っていく。また、運行計画の作成作業および関係機関との協議、事業者申請などを進めていく

市民にご協力いただく項目

【各自治会での説明会】

- ・第1回：堤上自治会
- 1月19日に開催
- 予約型乗合バスについて
- 利用方法等の説明

今後も自治会ごとに説明を実施予定
(全17自治会で行う)

【乗合所設置場所の検討】

- ・小出地区定例会(第4回)
- 1月20日に開催
- 乗合所の設置場所について住民を交えた検討を実施

住民説明会に反映

【広報・PR活動の実施】

全体計画や利用方法、料金に関する広報、回覧を実施予定

運行計画の作成 交通会議、システム準備、申請等

1月中旬：乗合所配置場所(素案)の検討

1月28日：第3回地域公共交通会議(本日)

住民意見を踏まえ、再検討

2月：運行計画の作成(運行エリア・乗合所、運行日・時間帯、運賃、車両、事業者等)

2月：乗合所配置場所の決定
計画内容の決定

広報・PR活動の実施

第4回地域公共交通会議(時期未定)

⇒予約型乗合バスの導入決定

国への申請(運行形態、乗合所等)

システムの設定、登録受付の開始

予約型乗合バスの導入、コミュニティバス北部循環市立病院線のルート変更(時期未定)

素案

関係機関
協議と
計画作成

申請

導入へ

○予約型乗合バスの運行計画(案)

現在の想定として以下に示しますが、このような運行計画を関係機関協議も踏まえて作成します。

1. 運行事業者

市内交通事業者を想定

2. 実証運行期間

平成25年度中に開始を予定

3. 運行日・時間帯

検討中(毎日運行を予定)

4. 運賃設定・支払方法

予約型乗合バス⇒〈検討中〉

(1回あたり100円を想定)

(ワンコインでの利用が可能)

コミュニティバス ⇒ 1回あたり200円

(これまで通り、均一料金を設定)

路線バス

⇒ 現状通り(距離別の運賃)

5. 使用する車両

ワンボックスの車両
(定員:9名)

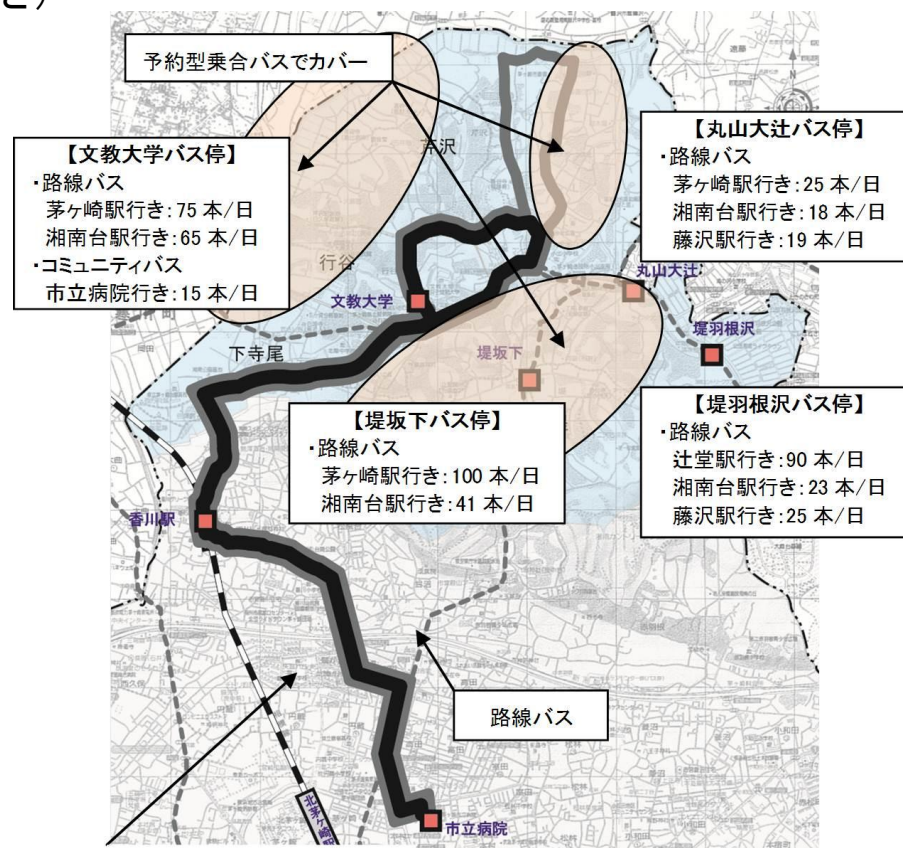


6. 利用方法

予約型乗合バスを利用される際は、事前に利用登録
予約は、電話またはインターネット(スマートフォンなど
も活用可能)で行う
予約の期限は利用時間の1時間前まで予約可能

7. 運行エリア、バス停

- ・小出地区内に設置する乗合所数は検討中
- ・路線バスやコミュニティバスへの乗り継ぎは、図に示す小出地区内の主要バス停(文教大学、小出二本松、堤坂下、堤羽根沢、丸山大辻など)



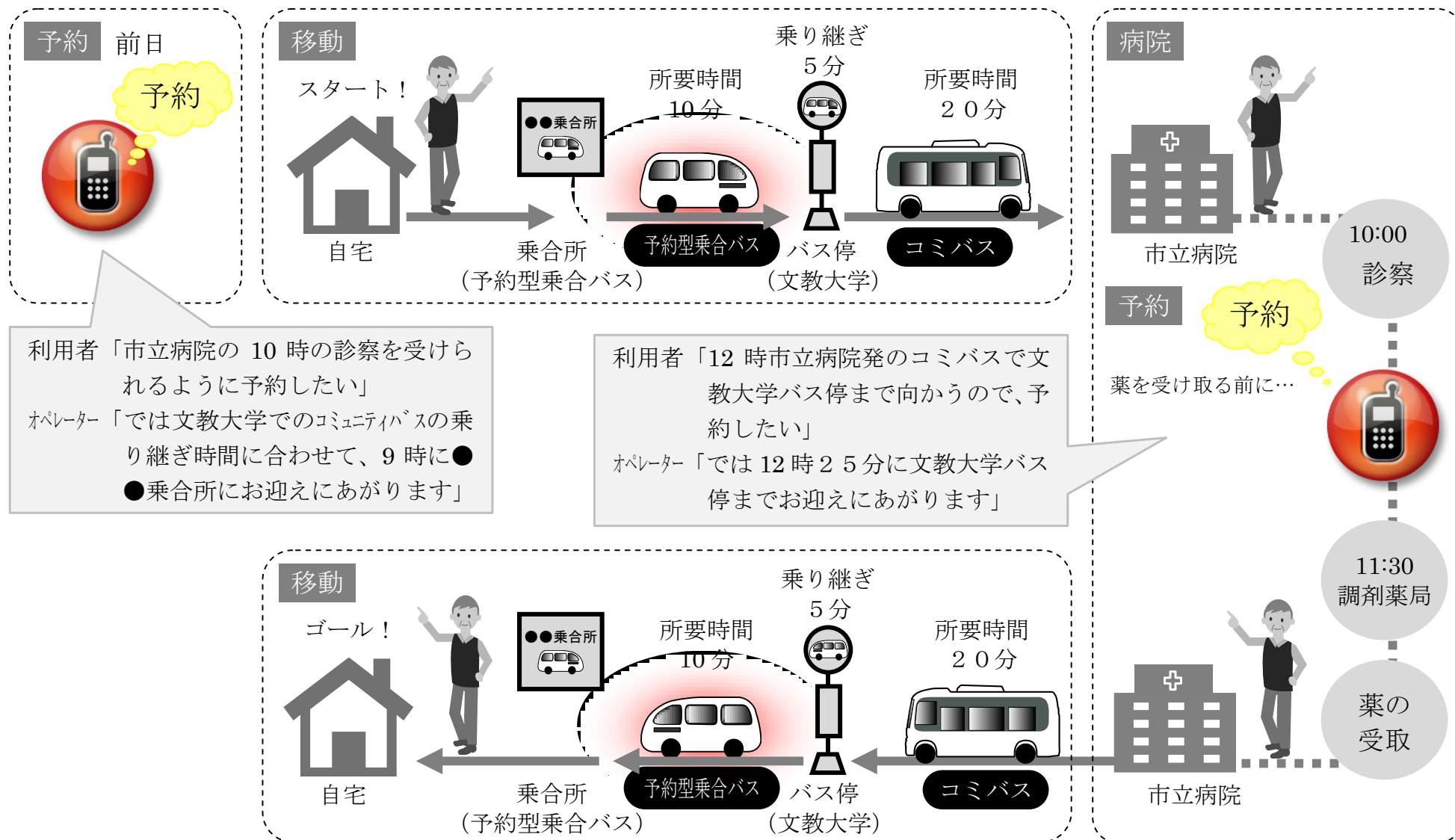
コミュニティバスえぼし号

コース名	区間	本数(平日)
里山まわりコース	市立病院～文教大学 ～里山公園～市立病院	8便/日
斎場まわりコース	市立病院～文教大学 ～茅ヶ崎市斎場～市立病院	7便/日

○予約型乗合バスの利用イメージ

利用の例を分かりやすい形で地域住民に示し、登録および利用につなげていく予定です。

①【午前中に市立病院へ通院】で利用(自宅 → 市立病院 → 自宅)



②【茅ヶ崎駅の周りで食事とお買い物】で利用(自宅 → 茅ヶ崎駅 → 自宅)

